

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	568 コミュニティバス「つくバス」運行事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	管理係・政策係	
戦略プラン	II-5	1	2	コミュニティバス「つくバス」運行事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	市内公共交通網の幹線として、路線バスを補完し、市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結ぶ、都市内交通としての役割を担う。
概要 (取組内容)	9路線において、一日283便、年間365日コミュニティバスを運行する。 つくバス運行に伴う諸問題を解消するとともに、利用促進に向けた取組みを行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	374,298	372,552	411,846	411,371	
	決算額	(千円)	310,668	352,365	342,640	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	310,668	352,365	342,640	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,707	11,732	11,026	12,393	12,393	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.60	1.60	1.60	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	346.67	346.67	37.75	37.75	37.75
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	コミュニティバス利用者数 (人/年)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	1,000,000.0	1,010,000.0	1,020,000.0	1,030,000.0	1,040,000.0	1,053,000.0
	実績	994,202.0	646,036.0	738,118.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) コミュニティバス「つくバス」の利用者数 (全路線累計) ※目標値は令和元年度から設定						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	時刻表の見直しを行い、増便対応や通勤通学にあった時刻設定を行い利便性向上に努めた。	
成果	通学利用している生徒がいる小学校に時刻設定を確認し、つくば市公共交通活性化協議会にて協議し、10月に時刻表の改正を実施した。バス待ち環境の改善策として、広告付きバス停上屋事業に関する協定やバス車内の広告収入の増加策として、コミュニティバス車内のデジタルサイネージ広告事業に関する協定を締結した。令和3年度の利用者は738,118人であり、前年同期比で14.3%増加している。	
課題	業務	西部シャトルの時刻表の見直しを行い、通学利用者は増えたが、その他の利用者からは、1便当たりの運行時間が長いと不便との意見があり、課題となっている。
	組織、予算等	緊急事態宣言やまん延等防止重点措置期間に、運賃収入が減るため市負担額の増加の恐れがある。また、世界情勢の影響により原油価格が高騰しており、予算不足の恐れがある。
改善目標	つくば市公共交通活性化協議会の協議を通じて、ルートや時刻表の見直し等利便性向上策について進める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	茎崎実証実験事業をつくばスの10番目の路線として編入するなど、事業規模が拡大している。	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	569 デマンド型交通「つくタク」運行事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1			係名	管理係・政策係	
戦略プラン	II-5	1	3	デマンド型交通「つくタク」運行事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	バスへの接続及び交通弱者をはじめとする市民の日常生活を支える交通手段の確保。
概要 (取組内容)	市内公共交通網の支線として幹線である路線バス等を補完する。 5地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）において、平日（年末年始を除く）9時～16時台にデマンド型交通を運行する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	150,243	150,243	147,804	153,025	
	決算額	(千円)	146,225	146,723	146,723	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	146,225	146,723	146,723	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,532	5,866	5,580	8,314	8,314	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	0.80	0.80	1.20	1.20
		正職員時間外勤務	(時間)	173.33	173.33	46.25	46.25	46.25
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	デマンド型交通利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0
	実績	53,887.0	41,071.0	44,380.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) デマンド型交通「つくタク」の年間利用者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	利用がなく危険個所にある停留所の撤去や移設を実施し、要望箇所に停留所を新設した。財政負担率の改善については、令和4年度以降に、事業の委託費内で実証実験的な取り組みを実施し、改善に向け取り組んでいく。	
成果	利用者数は令和3年度は44,380人となっており、前年同月比8.1%増加となっている。 令和3年度から導入した出産支援運賃割引制度は、登録者数620人となっており、新たな利用者層の獲得につながった。	
課題	業務	財政負担が高いため、令和4年度から令和6年度にかけて事業形態の見直しや、予算の範囲内で実証実験的な取り組みを行っていく必要がある。
	組織、予算等	収支で、事業に対する市の財政負担率が高い状況が課題である。
改善目標	財政負担率の改善を図るため、料金設定や運行形態の見直し、つくたくの制度上の改善を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	570 地域公共交通計画進行管理業務（旧：地域公共交通網形成計画進行管理業務）					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約				係名	政策係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市地域公共交通計画(令和3年3月策定)			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 交通対策基本法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	利便性が高く、持続可能な公共交通網の実現を図るため、策定した「つくば市地域公共交通計画」の進捗管理を行う。
概要 (取組内容)	つくば市地域公共交通計画に掲げられた基本理念「様々なデータや新技術で、人と人、まちとまちが“つながり”、未来へと“つながる”地域公共交通を目指して」と4つの基本方針に基づき14の指標を設定した。この指標の評価点検を実施し、国土交通省への報告を行う。なお、本計画の施策については、つくば市公共交通活性化協議会における審議案件となる。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	14,931	735	8,809	8,809	
	決算額	(千円)	2,807	14,548	731	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,807	14,548	731	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,390	4,400	4,623	5,990	5,990	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.60	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	130.00	130.00	214.83	214.83	214.83
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会において審議する。（市民代表として、各代表区長が出席）

指標の推移

指標名	指標の9項目の達成割合 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	実績	55.5	44.4	0.0	0.0	0.0
指標の概要	地域公共交通網形成計画の関連指標9項目の達成割合（R02年度で計画は終了）					

2	指標名	指標 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば市地域公共交通計画の関連指標14項目の達成割合 (R03年度は計画初年度のため評価実績なし)					
3	指標名	指標 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	指標 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	指標 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		
成果	令和3年度における指標の評価点検を実施するため、令和4年度の評価点検業務委託に係る予算を計上した。	
課題	業務	評価点検業務・・・評価点検及びアンケート調査、施策の検討、つくば市公共交通活性化協議会での審議
	組織、予算等	令和4年度当初予算 点検評価業務委託費 8,074,000円、つくば市公共交通活性化協議会負担金 735,000円
改善目標		

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	つくば市地域公共交通の進捗管理（指標の進捗管理）は、国土交通省への報告（努力義務）を行うものである。今後5年間、継続して調査検討を要するものとなる。

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	571 つくばエクスプレス利便性向上事業					
予算科目	01-080411-13	つくばエクスプレス利用促進に要する			担当部課	都市計画部総合交通政策課
市長公約					係名	政策係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	つくばエクスプレス利用者の利便性を向上させる。
概要 (取組内容)	沿線区市と連携し、つくばエクスプレス利便性向上のための要望活動や勉強会等を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	130	158	158	158	
	決算額	(千円)	151	120	113	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	151	120	113	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	733	734	706	706	706	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	21.67	21.67	9.00	9.00	9.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	つくばエクスプレス 4 駅の 1 日平均利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	34,300.0	21,000.0	24,800.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	4 駅（つくば駅、研究学園駅、万博記念公園駅、みどりの駅）の 1 日平均利用者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	東京駅延伸、その他利便性向上策への要望活動	
成果	<ul style="list-style-type: none"> つくば市が参画するつくばエクスプレス沿線7市区首長懇談会から首都圏新都市鉄道株式会社に対して「東駅延伸等に係る要望書」を提出 つくば市が参画する茨城県つくばエクスプレス三市推進協議会から首都圏新都市鉄道株式会社に対して「コロナ禍における安全運転、安全輸送の確保に係る応援文書」を送付 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス蔓延により、公共交通の利用者が減少する中、TXにおいても同様の傾向が見られている。今後、安全性なども含め、利用促進に努める必要がある。 令和7年のTX20周年に向けたイメージアップ事業の検討を行う。
	組織、予算等	
改善目標	新型コロナウイルス蔓延が収まった時期を見計らい、沿線自治体による利用促進PR活動の実施	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	本事業は、つくばエクスプレスの経営安定化や沿線自治体の持続的発展に資するため。	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	015 支線型バス実証実験事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1			係名	政策係、管理係	
戦略プラン	II-5	1	4	支線型バス実証実験事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市公共交通改編実施計画				事業期間	期間限定複数年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	高齢社会の進展に伴う、高齢者の移動手段の検討のため、生活に密着した地域の移動を担う新たな支線の検討を行う。
概要 (取組内容)	新たな支線交通として、10人乗ワゴン車を用いた支線型バスを2019年度から運行している。コースは、つくタク0D（起終点）データから、筑波地区の中心市街地を通るルートをもとに4コースを設定し、定時定路線とする。運行時間は、概ね8時～18時、土日祝日運行することにより、つくタクと差別化を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	62,125	62,125	48,932	30,274	
	決算額	(千円)	61,404	61,751	61,751	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	61,404	61,751	61,751	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,512	9,532	7,088	5,038	5,038	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	1.30	1.00	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	281.67	281.67	104.25	104.25	104.25
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	年間利用者数 (人)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	15,840.0	15,840.0	15,840.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	5,749.0	4,662.0	4,976.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 「支線型バス」の年間利用者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	実証実験終了へ向けた住民説明会等を実施し、地域の理解を得て終了する。また、4コース中1コース（筑波ふれあいの里入口から筑波交流センター）については、本格運行を令和4年度10月頃から実施予定。	
成果	令和3年度の利用者は4,976人で前年度同月比で6.7%の増となっている。 令和4年10月から本格運行するため、住民設回の開催や現地立ち合いを実施し、コース等の見直しを行った。	
課題	業務	10月から本格運行するに当たり、1便当たり1人以上の乗車が事業継続の条件となっているため、事業が継続できるよう業務改善や利用状況を地域住民と共有し運行していく必要がある。
	組織、予算等	財政負担率が非常に高い状況であり、1便当たり1人以上の乗車をしてもらえることで、国の補助金を活用できるため、地域と協力して取り組んでいく必要がある。
改善目標	令和4年10月から運行する際は、1便当たり1人以上乗車が目標となる。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	実証実験は令和3年度で終了するが、令和4年度10月からは本格運行を行うため	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	016 路線バス実証実験事業					
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	政策係、管理係	
戦略プラン	II-5	1	1	路線バス実証実験事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市公共交通改編実施計画				事業期間	期間限定複数年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	高齢化率の高い公共交通の希薄な地域における移動手段を確保し、利便性を向上させる。
概要 (取組内容)	路線バス運賃補填実証実験事業：茎崎地区から牛久駅間の路線バス（4路線）について、つくバス並みの運賃で利用できるように運賃を補填（※ICカード利用のみ） 桜地区を通る民間路線バスの便数を日中時間帯増便 茎崎地区と牛久駅間の路線バスを新規運行し、つくバス並みの運賃で実施

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	49,570	45,618	7,561	12,704	
	決算額	(千円)	44,824	44,133	34,101	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	44,824	44,133	34,101	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,659	2,200	2,169	2,169	2,169	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	108.33	65.00	48.75	48.75	48.75
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	路線バス運賃補填実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	53,436.0	53,436.0	53,436.0	0.0	0.0	0.0
	実績	79,236.0	58,469.0	64,951.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 運賃補填事業の対象便及び対象区間をICカードで利用した者の人数					

2	指標名	路線バス増便実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	11,967.0	11,967.0	11,967.0	0.0	0.0	0.0
	実績	11,960.0	10,319.0	12,170.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	日中時間帯に増便した野田団地線(つくばセンター⇄土浦駅※上ノ室経由)の利用者数					
3	指標名	路線バス運行実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16,276.0	16,276.0	16,276.0	0.0	0.0	0.0
	実績	27,075.0	21,825.0	26,218.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	「富士見台」と「牛久駅」間を運行する新規路線バスの利用者数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	利用実績を踏まえ、路線バス運賃補填実証実験事業、路線バス増便実証実験事業は今年度で終了とする。路線バス運行実証実験事業については、需要があるため令和4年度からつくバスとして運行をする。	
成果	令和3年度は運賃補填実証実験事業が64,951人(前年同期比11.1%増)、増便実証実験事業が12,170人(前年同期比17.9%増)、路線バス運行実証実験事業が26,218人(前年同期比20.1%増)となっている。	
課題	業務	今年度をもって事業は終了である。終了にあたって周知等を行ってきたが、住民等から問合せがあることが想定されるため、説明できるよう備える必要がある。
	組織、予算等	新型コロナウイルスの影響により、運賃収入が減っており、つくバスとして運行を開始した後も、利用状況を確認し、予算の確保や利用促進策を実施する必要がある。
改善目標	本格運行後も財政負担率を軽減するために、利用促進策を行う必要がある。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	路線バス運賃補填事業、路線バス運行実証実験事業、路線バス増便実証実験事業は令和3年度で終了するが、令和4年度から新たな路線バス実証実験事業を行うため

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	043 MaaS等の活用検討						担当部課	都市計画部総合交通政策課
予算科目	01- - 一般会計						係名	政策係
市長公約							新規・継続	新規
戦略プラン	II-5	1	5	MaaS等の移動サービスを活用したモビリティ			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	
							事業期間	毎年度
個別計画							SDGs	11住み続けられるまちづくりを
根拠法令等								

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	公共交通の利用促進を図るため、多彩な交通手段を予約から決済まで可能なMaaS等の活用を検討する。
概要 (取組内容)	民間企業が構築を進めているMaaSのプラットフォームを研究し、連携を検討する。また、既存の経路検索サイトへつくバス時刻等のオープンデータを積極的に提供する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	734	684	684	684	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	21.67	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	経路検索サイトへのデータ提供数 (社)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	3.0	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) NAVITIME等の経路検索サイトへのデータ提供数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	茨城県では、茨城DXイノベーション推進プロジェクト事業が実施され、民間バス事業者を中心に、G T F Sデータの管理等の検証を進めているところである。市では、本プロジェクトの進行状況を確認し、今後の参加や導入の可能性について検討した。				
成果	関東鉄道（株）より、上記茨城DXイノベーションプロジェクト事業の情報共有及び参加民間企業とのマッチングなどを受けているところである。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td></td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務		組織、予算等	
業務					
組織、予算等					
改善目標	市が独自にM a a Sの独自開発が必要であるか否かを検討する必要があることやスーパーシティ構想との連携も必要である。				

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	M a a Sは、公共交通事業において今後必要なツールとなる。また、スーパーシティ構想においても位置づけられている。